



# 福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和7年12月12日 No.16

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課  
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22  
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

## Contents

- ✓ 日頃の活動の成果を披露！「ふくい健康長寿祭 2025」
- ✓ 学生たちと作り上げた「若者のボランティアフェスティバル」
- ✓ 学生の視点で福祉の魅力を発信！「フクチャレ！2025」
- ✓ 楽しく福祉のお仕事体験！「ふくしキッズプロフェッショナル」
- ✓ 利用者等との関係構築が重要！「福祉サービス苦情解決セミナー」
- ✓ 介護の現場で活躍中！タイからの技能実習生が60名を超える
- ✓ 地域共生社会の実現を目指して「第72回福井県社会福祉大会」
- ✓ 福祉を共に考える～ソーシャルワーク実習生受入れ～

## 日頃の活動の成果を披露！ 「ふくい健康長寿祭 2025」

### 基本目標1

社会的孤立を生まない  
地域づくり

### 5つのチャレンジ①

貧困の連鎖をなくすための  
取組み強化

### 関連するSDGsゴール



9月23日、秋晴れのもと、坂井市・あわら市を会場に「ふくい健康長寿祭 2025」を開催し、スポーツ・文化交流大会や健康福祉イベントなど、約2400名の方が参加されました。

今年は、「シニア応援文化祭」として、シニアグループの芸能発表やシニアの豊かな暮らしに役立つ公開講座を新たに開催しました。

ステージ発表では、6グループが出演し、バンド演奏や踊りなど、日ごろの活動の成果を披露し、来場者も一緒に歌ったり手拍子をするなど、ステージと客席が一体となって盛り上がりました。

また、公開講座では、近年、被害や手口が複雑化している「特殊詐欺」について、福井住みます芸人の笑福亭 笑生（しょうき）氏が実際に起きた事例を落語で演じ、それらへの対応を弁護士がアドバイスしました。

来場者からは、「特殊詐欺の事例を落語で紹介され分かりやすく、また対応も勉強になった」との声をいただきました。

元気なシニアが活躍する本県で、健康維持や交流が広がるよう、今後もさまざまな事業を通して応援していきます。



シニア応援文化祭でのステージ発表

## 学生たちと作り上げた「若者のボランティアフェスティバル」

11月16日、秋晴れのもと、福井市観光交流センターにて「若者のボランティアフェスティバル 2025」を開催しました。

このイベントは、県内の高校生と大学生 11 名の実行委員を中心に、企画・準備・広報・当日の運営を行いました。

県内の若者たちに「ボランティアは身近で楽しいもの」と知ってもらうために、どのような働きかけが必要なのか、イベントに立ち寄ってもらうためにはどのような企画をしたらよいかなど、6 回の実行委員会の中でアイデアを出し、意見交換しながら作り上げていきました。



実行委員会の様子

来場者からは、「初めて点字に触れることができ良い勉強になった」とか「自分にあうボランティア活動を知ることができた」などの声をいただき、また実行委員として参加した学生は、「ボランティアを知っているつもりだったが、自分自身もさまざまな活動を知ることができた」、「幅広い世代と関わることができ、いい経験になった」など、本会としてもボランティアを啓発する良い機会になったと感じました。

今回のつながりを大切に、今後もボランティア活動の振興を進めていきます。

[イベントをまとめた動画はこちらからご覧いただけます➡](#)



### 基本目標 1

社会的孤立を生まない  
地域づくり

### 5つのチャレンジ①

貧困の連鎖をなくすための  
取組み強化

関連するSDGsゴール



イベント当日の様子

## 学生の視点で福祉の魅力を発信！「フクチャレ！2025」

### 基本目標 4

新たな課題に取り組む  
組織・ネットワークづくり  
関連するSDGsゴール



学生の視点で県内の福祉関係団体取材し、その魅力を広く伝える「フクチャレ！2025」は県社協が県立大学との協働で福祉のイメージアップを図る取組みです。

今年度は、14名の学生が4グループに分かれ、県内の福祉団体の取組みを取材・体験し、福祉の魅力を探り、どう伝えるかをゼミの授業で広報制作に取り組んでいます。

まず、取材先となる団体の情報を収集し質問内容を考え、模擬インタビューを行うなどの準備をしてから訪問しました。

初めは緊張している様子も見られましたが、徐々に笑顔も見られるようになり、2回目の訪問では、利用者の方との交流を図りながら、実際に体験活動を行い取材をしました。

学生自身が体験取材した結果を踏まえ、福祉の魅力を発信する成果報告会は12月15日社会福祉センターにて開催します。

どのような広報素材ができあがるか楽しみです



インタビュー  
(上段：(特非) BRICOLAB)  
(下段：(福)城山)



活動体験  
(上段：(特非) きっずリハビリテーションサポート)  
(下段：(一社)ライフトレーニング)

## 楽しく福祉のお仕事体験！ 「ふくしキッズプロフェッショナル」

### 基本目標2 地域と福祉を支える 担い手づくり

#### 関連するSDGsゴール



昨年度から小学校高学年を対象に「介護福祉士」「障がい支援員」「保育士」「看護師」のお仕事を体験する「ふくしキッズプロフェッショナル」。このイベントは、福祉関係団体の協力のもと、将来の福祉人材発掘を目的に実施しています。

今年度は、9月20日・21日にアルプラザ敦賀（敦賀市）、11月22日・23日にラブラリーパートナー・エルパ（福井市）にて開催し、両会場で120名の子どもたちが参加されました。

体験プログラムは、「介護ロボットの操作」「目の見えない人のガイド」「乳児の人形と一緒にふれあい遊び」「バイタルサインの測定と状態観察」など、各協力団体が工夫を凝らしたメニューを提供し、子ども達もスタッフの説明を真剣に聞きながら取り組んでいました。

子ども達からは、「ふくしの仕事がとても良く分かった。また参加したい」、「大人になったら保育士の仕事がしたい」との声が。

また、子どもとペアで体験した保護者からは、「福祉の仕事を体験できる、このような機会はありがたい」、「自分自身も勉強になった」という声も聞かれました。

今回の取組みを通し、福祉の仕事に対する理解や、将来の福祉の担い手につながることが期待されます。



看護師（脈拍測定）



障がい支援員（アイマスク誘導体験）



保育士（絵本の読み聞かせ）



介護福祉士（移乗体験）

## 利用者等との信頼関係構築が重要！ 「福祉サービス苦情解決強化セミナー」

11月5日（福井市）・14日（越前市）の2日間、「福祉サービス苦情解決機能強化セミナー」を開催し、県内の福祉サービス事業所の苦情解決責任者や苦情受付担当者等186名が参加されました。

講師には、弁護士で金沢大学名誉教授の野坂佳生氏を迎え、福祉安全を含む法的リスク管理や利用者等との信頼関係を築く（維持する）ことの重要性等、組織における苦情解決のための論理的な視点と社会正義についての考え方を学びました。

また、受講者の事業所が抱える苦情案件に対する助言をいただくなど、今後の苦情対応における有意義なセミナーとなりました。

**基本目標3**  
制度の狭間を生まない  
包括的支援体制づくり  
関連するSDGsゴール



セミナー当日の様子

## 介護の現場で活躍中！ タイからの技能実習生が60名を超える

**基本目標2**  
地域と福祉を支える  
担い手づくり

**5つのチャレンジ③**  
福祉・介護で働く  
外国人への支援

関連するSDGsゴール



本会では、県や県介護福祉士会と連携して、県内介護事業所へのタイ人技能実習生の受入れ支援を行っています。

本年10月には第8期生となる8名が入国し、約1か月間の入国後講習を経て、11月7日から県内4事業所で実習を開始しました。

令和4年4月の第1期生6名の入国から、これまでに61名（20事業所）の受入れ支援を行っています。

また、3年間の技能実習修了後も、多くは特定技能外国人として介護の現場で引き続き働いており、今後はその中から介護福祉士が誕生することも期待されます。

本会では毎年春と秋の2回、受入れ支援を行っています。

現在、令和8年度秋入国の技能実習受入れ施設を募集しています。（令和8年1月末募集締め切り）

詳しくは、福祉人材課（外国人材部門）TEL0776-24-0086 までお問合せください。



8期生の福井到着時の様子



入国後講習で介護実技を学ぶ技能実習生

## 地域共生社会の実現を目指して 「第 72 回福井県社会福祉大会」

### 基本目標 4 新たな課題に取り組む 組織・ネットワークづくり

#### 5つのチャレンジ②

ひきこもり・8050 問題への  
理解促進と支援の輪づくり

関連するSDGsゴール



11月8日、「第72回福井県社会福祉大会」を福井県生活学習館（ユー・アイふくい）にて開催し、約250名の福祉関係者と県民が参加し、地域共生社会実現への決意を新たにしました。

式典では、社会福祉の様々な分野で長年活躍し、福祉の向上に寄与された方・団体および共同募金運動に貢献されてきた方・団体の功績を称える表彰式を行い、297名と7団体に表彰状が授与されました。

式典後は、元NHKディレクター 小国士郎氏による「笑いながら革命したっていいじゃない〜熱狂する素人が、世界を変える〜」と題した記念講演を行いました。

これまで様々な社会問題に向き合い、企画構成に携わってきた経験から、社会を動かすのは中途半端なプロではなく、熱狂する素人であること、支えられる側が支える側になる仕組みづくり、制度を変えるのは容易ではないが、一人ひとりが社会課題を受け入れることで暮らしやすい社会に繋がること等を、自身が制作した映像を交えて話されました。



表彰式の様子



小国士郎氏による記念講演



## 福祉を共に考える ～ソーシャルワーク実習生受入れ～

本会では、11月4日～13日の8日間、福井県立大学生2名のソーシャルワーク実習（社会福祉士実習）を受け入れました。

実習生は、本会が行う事業全般についての説明を受け、実際にセミナーや研修などに参加することを通じて、本会の役割や様々な機関と連携した取組みについて、ソーシャルワークの視点から新たな気づきを得ていました。

特に、越前市で行われた県の総合防災訓練では、災害福祉支援ネットワーク（DWAT）の活動を見学し、要支援者のアセスメントの状況や災害ボランティア受入れの流れなどを体感することで、多職種連携や災害時の課題などを学ぶ貴重な機会となりました。

終盤には、県社協として取り組むべき事業を提案するプレゼンテーションを行い、「食堂を超えた地域の居場所づくり」「若者に対する福祉教育の推進」をテーマに、実習期間中に得た気づきをもとに実践に繋げる取組みを提案されました。

本会は、今後も当該受入を通じて、福祉従事者の育成と地域福祉の推進に努めてまいります。

### 基本目標 2 地域と福祉を支える 担い手づくり

### 基本目標 4 新たな課題に取り組む 組織・ネットワークづくり 関連するSDGsゴール



---

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課  
〒910-8516 福井市光陽 2 丁目 3-22  
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp



ホームページ



YouTube



Facebook